

2022年度・日本政治外交史Ⅰ・学期末試験問題

□解答上の注意

- 1 この試験は持込み不可です。
- 2 設問順に解答してください。
- 3 解答用紙の解答欄は、各自で調整の上、作成してください。
- 4 解答用紙は1枚(両面使用可)のみです。
- 5 指定行数を守り、1行の文字数は常識の範囲内で少なすぎないように注意してください。

〔問題Ⅰ-A〕(10問×2点)

以下の文章の()に当てはまるもっとも適切な語句(人名はフルネームで、年号は西暦で)を記入してください。解答は設問順に各自で(1)××というように記入してください。

1919年に開催された(1)の結果、国際連盟が創設される。日本は国際連盟に貢献する。たとえば(2)が国際連盟事務局次長を務め、知的協力委員会幹事を兼任した。日本は国際的な地位向上の観点から(3)にも加盟している。

ところが西暦(4)年9月に満州事変が勃発する。この政党政治に対するクーデタに対抗するために、政友会と民政党は(5)構想で対抗しようとしたものの、実現させることができず、満州事変の拡大を防ぐことができなかった。

満州事変をめぐって、国際連盟の調査団は(6)を公表する。この文書は「和解の文書」と呼ばれることがある。しかし国際連盟と日本の和解は実現しなかった。この文書に基づく国際連盟の対日勧告に反発した日本は、日本代表の(7)が総会議場から「堂々と」退場していった。

西暦(8)年の4月17日、外務省は(9)声明を発表する。国際連盟などの中国に対する国際援助を牽制するこの声明は、国際的な反響を巻き起こした。

それから数年後、日本は日本と同じ年に国際連盟からの脱退を通告した国と(10)と呼ばれる国際的な取り決めを結んだ。

〔問題Ⅰ-B〕(1問×10点)

以上の国際連盟と日本との関係の略史を参考にしながら、近代の日本外交にとって国際連盟とはどのような存在だったのか、解答用紙5行以上10行以内で、可能な限り具体的に論述してください。

〔問題Ⅱ-A〕(10問×2点)

日本の近代化に関する以下の略年表の()に当てはまるもっとも適切な語句(人名はフルネームで、年号は西暦で)を記入してください。回答は設問順に(a)△△というように記入してください。

〈略年表〉

1840年 清国とイギリスとの戦争=(a)戦争の勃発。

1867年12月9日(新暦では1868年1月3日)王政復古の号令によって、(b)政策を推進する新政府が成立。

- 1873年 (c) をめぐる「外征派」対「内治派」の対立によって明治6年の政変が起きる。
- 1890年 第一議会において (d) と議会主義が対立。
- 1894年 日清戦争のきっかけとなる (e) が起きる。
- 1894年7月16日 (f) 条約の締結。
- 1904年 第1次 (g) 協約の締結。
- 1909年10月26日 (h) が韓国の独立運動家に暗殺される。
- 1909年 アメリカのノックス国務長官が (i) を提起。
- (j) 年 韓国併合。

〔問題Ⅱ－B〕(1問×10点)

以上の略年表を参考にしながら、なぜ近代の日本は、〈帝国〉となるまでに対外膨張することになったのか、解答用紙5行以上10行以内で、可能な限り具体的に論述してください。

〔問題Ⅲ－A〕(10問×2点)

以下の文章の()に当てはまるもっとも適切な語句を記入してください。解答は設問順に各自で(ア)〇〇というように記入してください。

西暦(ア)7月7日の盧溝橋事件をきっかけとして、日中戦争が拡大する。この年の12月には(イ)事件が起きる。翌年11月3日、「東亜新秩序」の建設を目的に掲げる(ウ)声明が発せられる。この声明は前年の「(エ)を相手とせず」声明を修正したものだった。この間にドイツを仲介国とする和平工作＝(オ)が試みられたものの、日中戦争は終わらなかった。

その後、第二次世界大戦が始まる。欧州におけるドイツの戦勝に便乗し、フランスの降伏を契機に、日本国内で(カ)論が台頭するようになる。

他方で戦争回避を目的とする日米交渉が続く。アメリカ側も日本側の乙案に近い(キ)をまとめた。しかし交渉は妥結しなかった。日本はアメリカに開戦する。

1943年11月5～6日、満州国代表や汪兆銘のほかに(ク)・フィリピン・ビルマの各国からの出席者および自由インド仮政府のチャンドラ・ボースの参加を得て、(ケ)が開催される。その結果、採択された宣言には「進んで(コ)を開放する」の一節があった。

〔問題Ⅲ－B〕(1問×10点)

以上の文章を参考にしながら、近代の日本にとって「アジアの解放」とは何だったのか、解答用紙5行以上10行以内で、可能な限り具体的に論述してください。